

凡例

1. 各行に付した番号は地域ごとの整理番号である。
2. 複数個体が混在し、個体分けが困難であった場合は、重複などから判定された下限を「少なくとも○個体」として記載した。
3. 同一個体が複数の箱にまたがって収められていると考えられる場合、個体数は、箱ごとの区別をせず、該当する保管箱全体として記載した。
4. 年齢区分および性別は、判定できたものに限り、備考に記した。

沖縄県

整理番号	収集経緯			個体数	備考
	採集年	地名			
		現在の地名（県市町村／大字／小字）	保管箱ラベル		
1	昭和4年	沖縄県	沖縄県	少なくとも 34個体（個 体が箱をま たぐと考え られるため 枠を結合）	
2	昭和4年	沖縄県	沖縄県		
3	昭和4年	沖縄県	沖縄県		
4	昭和4年	沖縄県	沖縄県		
5	昭和4年	沖縄県	沖縄県		
6	昭和4年	沖縄県	沖縄県		
7	昭和4年	沖縄県	沖縄県		
8	昭和4年	沖縄県	沖縄県		
9	昭和4年	沖縄県	沖縄県		
10	昭和4年	沖縄県	沖縄県		
11	昭和4年	沖縄県	沖縄県		
12	昭和4年	沖縄県	沖縄県		